

# 『生活・消費動向について』

平成24年5月21日

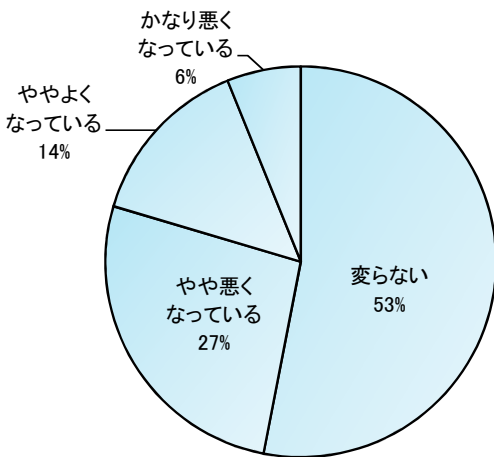
## 昨年と比べ支出は増加し、預金残高は減少

調査期間：5月10日(木)～15日(火)

回答数：49名

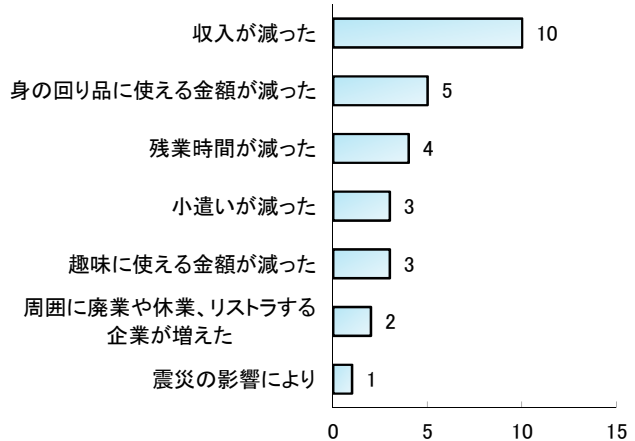
回答率：96.1%

Q1 現在の暮らし向きは1年前と比べてどのように変化しましたか？(単一回答)



昨年と比べて暮らし向きは「変らない」と約半数の53%(26名)の方が回答している。「悪くなっている」と回答した方は33%(16名)であった。

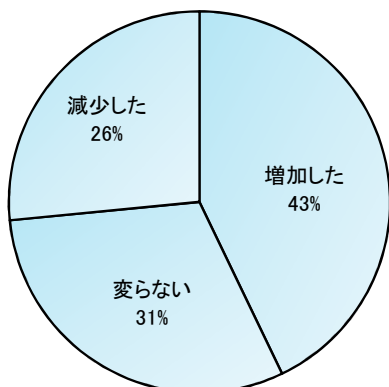
Q2 Q1で「悪くなっている」と回答された方にお聞きします。どのような時にそう感じますか？(複数回答可)



有効回答者数 16名

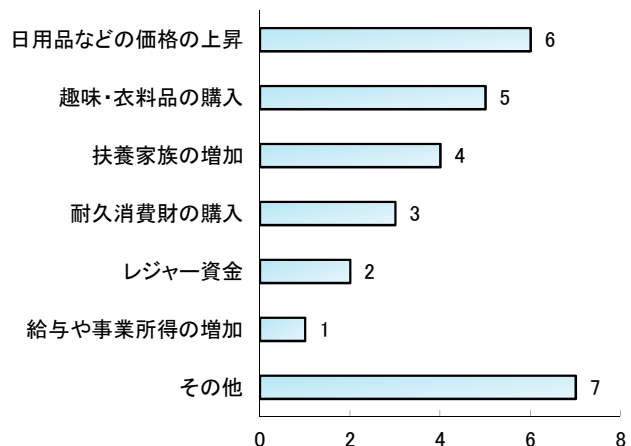
「収入が減った」と10名の方が答え、最多回答であった。「震災の影響により」と1名の方が回答している。

Q3 1年前と比べて、あなた又は家族の支出は変化しましたか？(単一回答)



「増加した」と回答した方が43%(21名)と最も多かった。約70%の方が増加または減少等の変化があった。

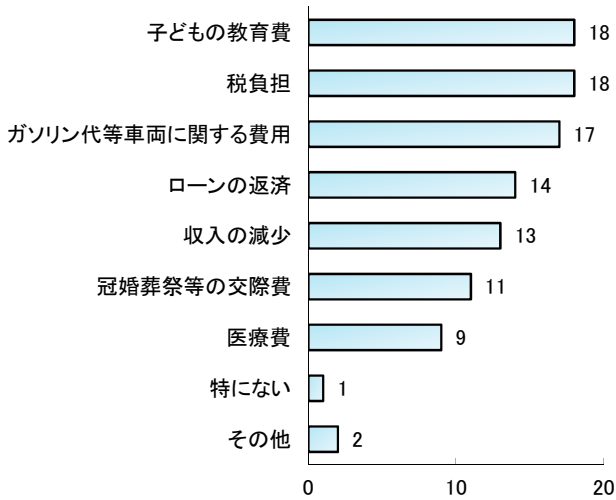
Q4 Q3で「増加した」と回答された方にお聞きします。支出が増加した理由は何ですか？(複数回答可)



有効回答者数 21名

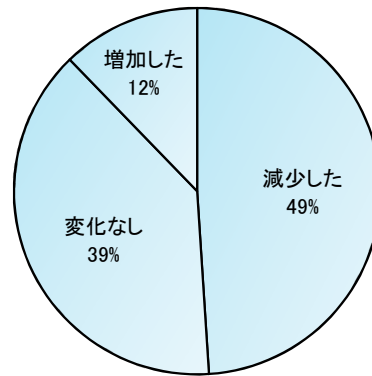
目立った差は見られなかったが、「日用品などの価格の上昇」と6名の方が答え、最多回答であった。その他はすべて「教育費、進学費」との回答であった。

Q5 家計の支出に深刻な影響を与えているものは何ですか？(複数回答可)



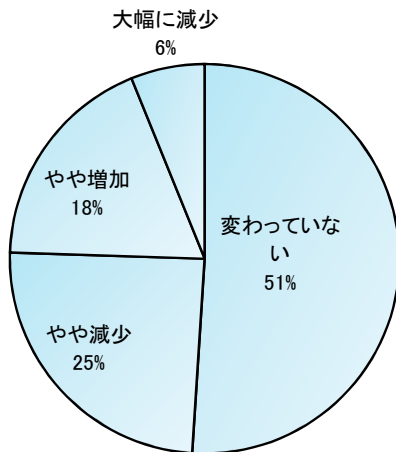
「子供の教育費」「税負担」と37%(18名)の方が答え、最多回答であった。支出面だけでなく収入の減少により家計へ影響を与えている方も13名いた。その他は「電気代」「保険料」であった。

Q6 1年前と比べて、あなた又は家族の預金残高は変化しましたか？(単一回答)



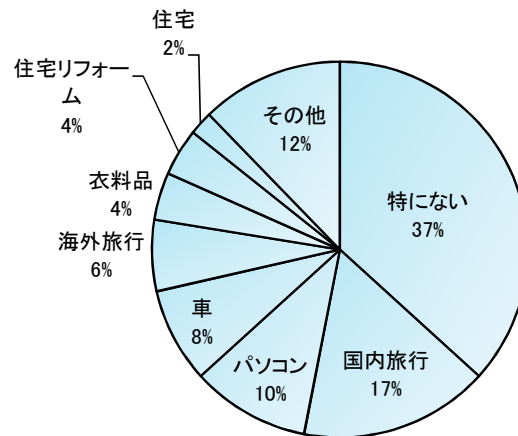
「減少した」と回答した方が半数を占めた。支出の増加傾向とともに預金残高の減少が見られる。

Q7 昨年と比べ消費意欲に変化はありますか？(単一回答)



約半数の方が「変わっていない」と回答。「減少した」と31%(15名)の方が回答している。「大幅に増加」と答えた方は0名であった。

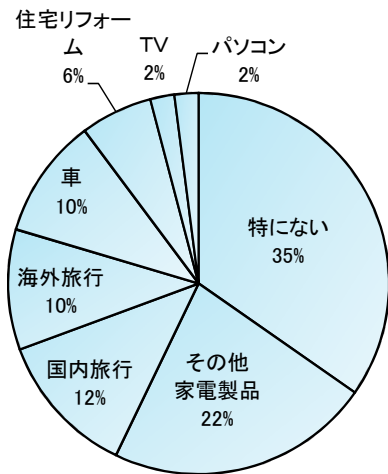
Q8 今年に入ってから現在までに支出した最も高額なものは何ですか？(単一回答)



38%(18名)の方が特に高額な支出はしていないと回答。薄型テレビの需要も減っており、今回答えた方はいなかった。その他として、大学入学金等の「教育費」と答えた方が多かった。

Q9

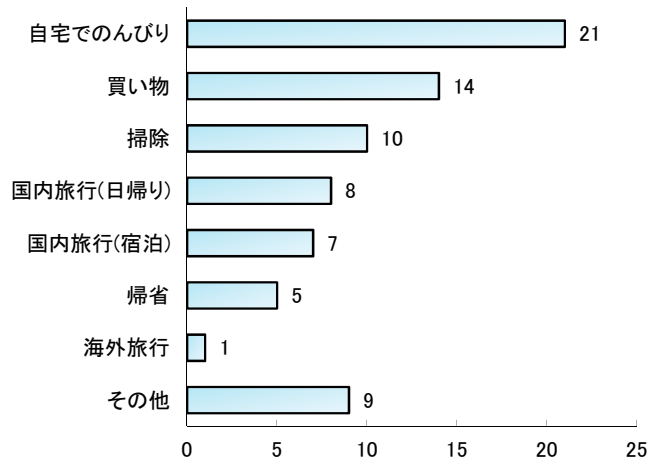
今年の6月から12月までに購入を予定されているもので最も高価な物は何ですか？(単一回答)



Q8と同様に年内の高額な支出は特に予定していない方が多かった。購入を考えている方で「家電製品」と22%(11名)が最多回答であった。

Q10

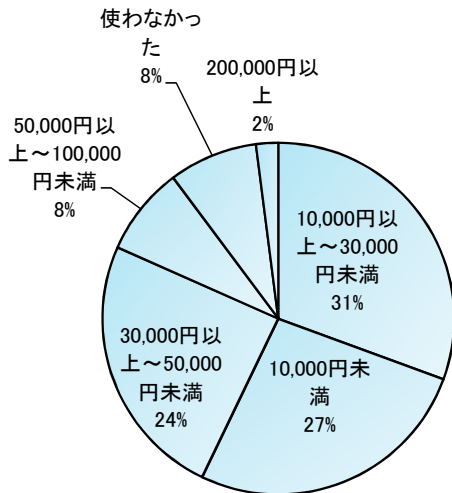
ゴールデンウィーク(4月28日～5月6日)期間中はどのように過ごされましたか？(複数回答可)



「自宅でのんびり」と21名の方が答え、最多回答であった。連休を利用して旅行へ行かれた方は昨年調査とほぼ同数であった。その他は「仕事」「農作業」「実家の手伝い」等であった。

Q11

ゴールデンウィーク期間中にレジャー・外食に使った金額はいくらくらいですか？(単一回答)



30,000円未満と答えた方が多く、全体の58%(28名)であった。一方で200,000円以上使われた方は2%(1名)であった。

Q12

今現在の暮らしの中で不安なことは何ですか？(自由記述)

4名の方が「健康面」と答えられ、最多回答であった。

その他の意見として、収入の減少/自然災害/景気の悪化/教育費/年金/食品の安全性/収入と支出のバランス/雇用の安定/電力料金の値上げ/電力需要/増税等の意見があった。